

平成30年 交通事故のあらまし



磐 田 警 察 署
交通安全協会磐田地区支部
磐田地区安全運転管理協会

凡 例

この統計表に用いている用語の意味等は次のとおりです。

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定されている道路上において、車両、列車（軌道車）の交通によって起こされた死亡または負傷を伴った事故（人身事故）をいう。
- 2 「死亡」とは、交通事故の発生後24時間以内に死亡したものをいう。
- 3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者または歩行者のうち、この事故における違反（過失）が重い者をいい、また、違反（過失）が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 4 「死亡事故」欄は、事故発生後24時間以内に死者が生じた事故件数、死者数及びこの事故の負傷者数である。
- 5 「幼（園）児事故」、「小学生事故」、「中学生事故」、「高校生事故」、「高齢者事故」欄は、幼児（未就園児）、園児（就園児）、小学生、中学生、高校生、高齢者（65歳以上）が、第1、第2及び第3以下の当事者（同乗者を含む。）となった人身事故件数と、その（幼児、園児、小学生、中学生、高校生、高齢者）死傷者数である。
- 6 「歩行者事故」または「自転車事故」欄は、歩行者、自転車が第1、第2及び第3以下の当事者となった人身事故の件数と、その（歩行者、自転車）死傷者数である。
- 7 「二輪車事故」（原付車を含む。）欄は、道路交通法上の自動二輪車及び原動機付自転車が、第1、第2当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数である。
- 8 「ヤングドライバー事故」欄は、16～24歳の者が原動機付自転車以上の車両を運転し、第1当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数である。
- 9 「飲酒事故」欄は、自転車以上の車両を、酒酔いまたは酒気帯び状態で運転中の者が、第1当事者となった人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数である。
- 10 「交差点事故」欄は、交差点内（交差点付近を含まない。）で発生した人身事故件数と、この事故から生じた全死傷者数である。

（注1）同種のもの相互の事故は、件数を1とした。（例えば、二輪車対二輪車事故を1件）

（注2）本統計表は人身交通事故を対象としているが一部の項目（磐田警察署管内の交通事故）に参考として物損交通事故件数を計上した。

目 次

平成30年の交通の概要等

第1 全国の交通事故

1	発生状況	1
2	発生件数・死者数のワースト順位	1
3	過去10年間の推移	1

第2 静岡県の交通事故

1	発生状況	2
2	過去10年間の推移	2
3	警察署(隊別)発生状況	3
4	警察署別免許人口一覧表	4

第3 磐田警察署管内の交通事故

1	発生状況	5
2	月別	5
3	曜日別	5
4	時間別	5
5	死傷者年齢別	5
6	第1当事者の状態別	5
7	違反別(第1当事者)	6
8	事故類型別	6
9	路線別	6
10	交番・駐在所別	7
11	管内の事故の特徴	7
12	死亡事故発生状況	8

第4 磐田警察署管内各種事故の状況(各当事者別)

1	幼(園)児事故	9
2	小学生事故	10
3	中学生事故	11
4	高校生事故	12
5	高齢者事故	13
6	歩行者事故	14
7	自転車事故	15
8	二輪車(原付を含む)事故	16
9	ヤングドライバー事故	17
10	飲酒事故	18
11	交差点事故	19
12	外国人事故	20
13	安全運転管理者選任事業所事故	21・22

第5 交通安全教育活動

1	交通安全協会磐田地区支部の活動	23
2	磐田地区安全運転管理協会の活動	24
3	磐田警察署の活動(交通事故防止対策)	25

第1 全国の交通事故

1 発生状況

区 分	件 数	死 者	負 傷 者
平成30年	430,601	3,532	525,846
前年比	-41,564	-162	-55,004

2 発生件数・死者数のワースト順位

(1) 件数

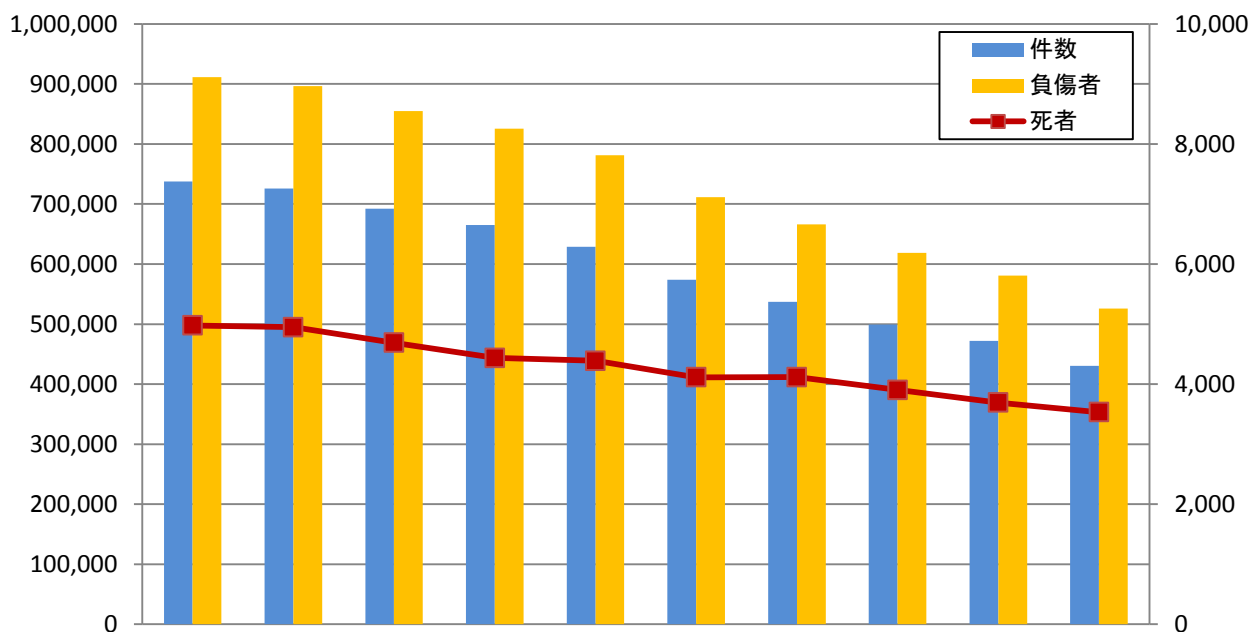
区 分	件 数	前年比
1 愛知	35,258	-3,857
2 大阪	34,382	-1,615
3 東京	32,590	-173
4 福岡	31,279	-3,583
5 静岡	28,402	-1,842
6 神奈川	26,212	-2,328
7 兵庫	24,667	-2,124
8 埼玉	24,123	-2,153
9 千葉	17,374	-656
10 群馬	13,087	342

(2) 死者

区 分	人 数	前年比
1 愛知	189	-11
2 千葉	186	32
3 埼玉	175	-2
4 神奈川	162	13
5 兵庫	152	-9
6 大阪	147	-3
7 東京	143	-21
8 北海道	141	-7
9 福岡	136	-3
10 茨城	122	-21
11 静岡	104	-24
12 新潟	102	17

3 過去10年間の推移

件数・負傷者(件・人)



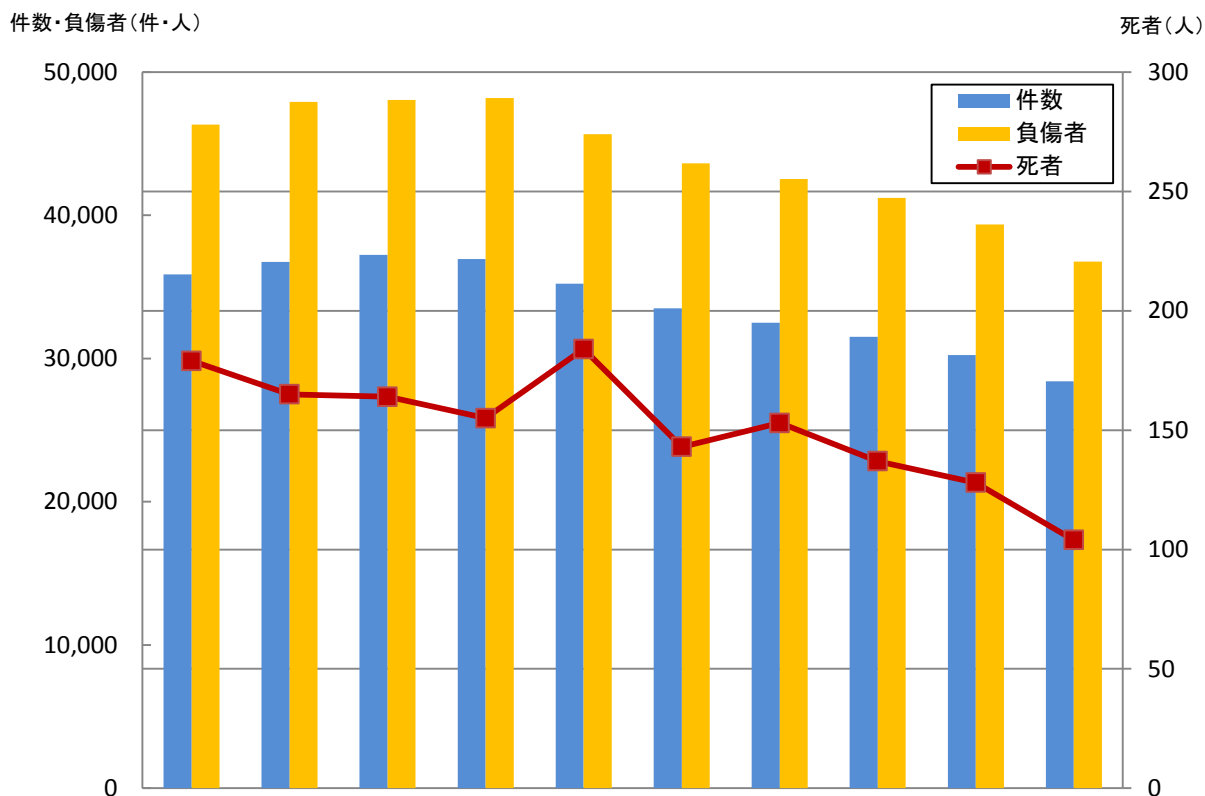
年別 区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
件 数	737,637	725,924	692,084	665,157	629,033	573,842	536,899	499,201	472,165	430,601
死 者	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532
負 傷 者	911,215	896,297	854,613	825,392	781,492	711,374	666,023	618,853	580,850	525,846

第2 静岡県の交通事故

1 発生状況

区 分	件 数	死 者	負 傷 者
平 成 30 年	28,402	104	36,770
前 年 比	-1,842	-24	-2,583

2 過去10年間の推移



区 分 \ 年 別	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
件 数	35,878	36,751	37,238	36,946	35,224	33,499	32,491	31,518	30,244	28,402
死 者	179	165	164	155	184	143	153	137	128	104
負 傷 者	46,329	47,915	48,055	48,178	45,654	43,640	42,533	41,221	39,353	36,770



平成30年中の交通事故の特徴

- 死者数104人は、昭和28年以降、3年連続で過去最少を更新！
高齢者の死者も55人(前年比-19人)で、高齢者を65歳として統計をとり始めた平成2年以降、過去最少(前回最少 平成26年 73人)
- 件数は28,402件で、昭和63年以来、30年振りに3万件を下回る。
(昭和63年 27,960件)
- 横断歩道横断中の事故が増加 762件(前年比+56件、+7.9%)

3 警察署(隊)別発生状況

署別	平成30年			前年比較増減		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
下田	281	3	372	-37	-1	-77
大仁	483	3	681	-40	-1	-48
三島	876	8	1,083	-130	4	-181
伊東	443	1	600	6	-2	-13
熱海	205	1	302	-14	1	-16
沼津	1,980	7	2,572	-184	0	-164
裾野	614	4	763	-100	0	-176
御殿場	659	3	881	-21	0	-48
富士	2,000	7	2,532	-34	1	-117
富士宮	990	4	1,243	68	-4	27
清水	1,570	4	1,951	-156	-2	-175
静岡中央	1,711	2	2,058	-5	-8	6
静岡南	1,768	7	2,149	-169	3	-219
藤枝	1,094	3	1,422	-113	0	-110
焼津	1,058	7	1,350	-60	1	-90
島田	667	5	905	-30	-1	-31
牧之原	413	0	534	-35	-1	-72
菊川	417	4	565	-39	1	-32
掛川	833	2	1,134	-62	-4	-53
袋井	742	1	984	-105	-2	-173
磐田	1,396	2	1,844	-91	-4	-116
天竜	141	1	193	4	-2	11
浜松中央	3,221	7	4,134	-274	0	-362
浜松東	2,740	6	3,588	-77	0	-138
浜北	745	1	977	27	-1	39
湖西	282	1	367	-44	-1	-104
細江	723	3	948	-57	0	-59
高速隊	350	7	638	-70	-1	-92
計	28,402	104	36,770	-1,842	-24	-2,583

4 警察署別免許人口一覽表

平成30年12月末現在

署別	区分	總 数			高 齡 者 (65 歲 以 上)		
		計	男	女	計	男	女
下 田		42,081	23,545	18,536	15,530	9,542	5,988
大 仁		54,213	29,305	24,908	16,271	9,898	6,373
三 島		101,011	54,448	46,563	25,572	15,429	10,143
伊 東		44,735	24,432	20,303	15,702	9,526	6,176
熱 海		21,613	12,098	9,515	7,615	4,850	2,765
沼 津		151,996	83,804	68,192	37,026	22,937	14,089
裾 野		65,727	35,870	29,857	13,990	8,453	5,537
御 殿 場		73,952	41,151	32,801	16,793	9,863	6,930
富 士		175,726	94,845	80,881	42,090	25,086	17,004
富 士 宮		92,985	49,706	43,279	24,103	13,811	10,292
清 水		159,764	87,224	72,540	42,505	25,940	16,565
静 岡 中 央		167,803	90,883	76,920	41,310	25,874	15,436
静 岡 南		141,219	77,556	63,663	30,239	19,127	11,112
藤 枝		102,128	54,016	48,112	26,957	15,848	11,109
焼 津		96,296	51,396	44,900	24,670	14,411	10,259
島 田		73,750	39,569	34,181	20,811	12,234	8,577
牧 之 原		54,302	28,850	25,452	14,682	8,007	6,675
菊 川		58,177	31,178	26,999	15,815	8,585	7,230
掛 川		83,558	44,735	38,823	21,324	12,090	9,234
袋 井		75,134	40,283	34,851	17,936	10,231	7,705
磐 田		120,206	65,278	54,928	31,378	18,154	13,224
天 竜		19,694	11,025	8,669	7,196	4,427	2,769
浜 松 中 央		228,190	123,264	104,926	52,067	30,866	21,201
浜 松 東		173,409	94,147	79,262	39,448	23,690	15,758
浜 北		68,693	36,604	32,089	16,586	9,787	6,799
湖 西		42,003	23,145	18,858	10,588	6,127	4,461
細 江		66,498	35,198	31,300	18,105	10,265	7,840
計		2,554,863	1,383,555	1,171,308	646,309	385,058	261,251

第3 磐田警察署管内の交通事故

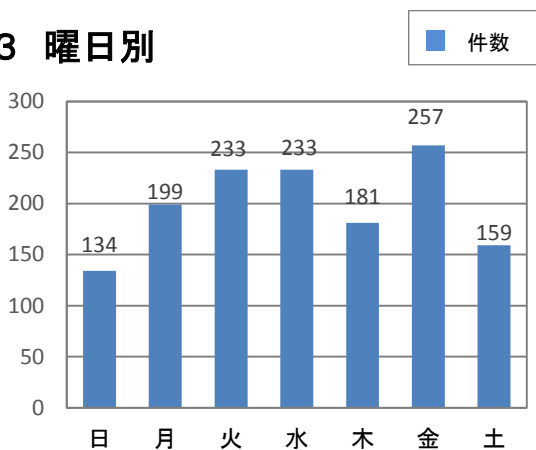
1 発生状況

区 分	件 数	死 者	負 傷 者	物 損
平成 30 年	1,396	2	1,844	3,096
前 年 比	-91	-4	-116	100

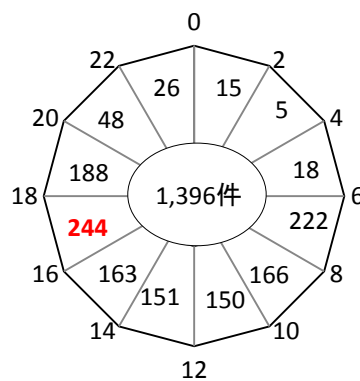
2 月別

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数	115	104	135	112	130	99	127	119	109	131	118	97	1,396
死 者				1		1							2
負傷者	159	125	181	163	160	125	160	168	154	176	149	124	1,844

3 曜日別



4 時間別



5 死傷者年齢別

区 分	死 者	負 傷 者
幼（園）児		49
小学生		54
中学生		41
高校生		64
20歳未満		60
20歳代	1	326
30歳代		313
40歳代		327
50歳代		246
60～64歳		90
65～74歳		169
75歳以上	1	105
計	2	1,844

6 第1当事者

(事故の主たる原因となった者)の状態別

区 分	当 事 者	
乗 用	大 型	1
	中 型	
	準 中 型	
	普 通	618
	軽 四	470
貨 物	大 型	15
	中 型	14
	準 中 型	24
	普 通	57
	軽 四	99
自 動 二 輪	22	
原 付 車	32	
自 転 車	33	
不 明	11	
計	1,396	

7 違反別(第1当事者)

	区	分	件数
車	信	号 無 視	39
	追	越 違 反	1
	優	先 通 行 妨 害 等	3
	横	断 歩 行 者 等 妨 害	24
	指	定 場 所 一 時 不 停 止	76
両	義 安 務 全 違 運 反 転	運 転 操 作	38
		漫 然 運 転	160
		脇 見 運 転	215
		動 静 不 注 視	261
		安 全 不 確 認	523
		そ の 他	9
等	そ の 他	36	
不	明	11	
計			1,396

8 事故類型別

	区	分	件数
人 対 車 両	対 (背) 面 通 行 中		13
	横 断 中	横 断 歩 道	24
		そ の 他	15
	そ の 他		25
車 両 相 互	正 面 衝 突		21
	追 突		558
	出 会 い 頭		426
	追 越 等		14
	右 左 折		128
	そ の 他		119
車 両 単 独			53
計			1,396

9 路線別

	区	分	件数
国 道	国 道 1 号		77
	1 5 0 号 バ イ パ ス		90
	150号バイパス地頭方～須々木		2
主 要 地 方 道	掛 川 天 竜 線		8
	磐 田 福 田 線		45
	磐 田 天 竜 線		36
	磐 田 停 車 場 線		8
	浜 北 袋 井 線		14
	磐 田 原 イ ン タ ー 線		19
一 般	中 野 諸 井 線		1
	豊 浜 磐 田 線		12
	磐 田 竜 洋 線		27
	磐 田 停 車 場 長 野 線		20
	磐 田 細 江 線		42
	豊 田 竜 洋 線		19
	山 梨 敷 地 停 車 場 線		
	磐 田 山 梨 線		14
	横 川 磐 田 線		17
	上 野 部 豊 田 竜 洋 線		23
県 道	浜 松 袋 井 線		18
	浜 松 御 前 崎 線		1
	磐 田 掛 川 線		22
	磐 田 袋 井 線		119
	そ の 他		2
市 町 村 道			683
そ の 他			77
計			1,396

平成30年

磐田警察署の人身事故の特徴

- 件数・死者・負傷者数トリプル減
- 追突・出会い頭事故で全体の7割

夕暮れから夜間の交通事故防止

歩行者も自転車も

ピカッ と光って

自分の身は自分で守りましょう!!



＜自発光式反射材＞



10 交番・駐在所別

区分 交番・駐在所別	平成30年			前年比較増減		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
署所在地	187	1	246	-2	0	-1
磐田駅前	221		278	-65	0	-87
西貝	67		90	-58	0	-68
向陽	97		134	-4	0	-4
磐田南部	116		161			
豊田	283		376	-28	-2	-39
竜洋	84		105	-31	-1	-43
福田	113	1	143	9	0	-8
豊岡	53		80	-18	0	-9
御厨	48		57	22	0	22
富岡	94		129	39	0	41
十束	33		45	16	0	22

※平成29年8月23日から南部交番が新設されたため前年比較なし

11 管内の事故の特徴

区分		件数		死者		負傷者	
			前年比		前年比		前年比
人身事故	昼間	1,064	-60	1		1,412	-75
	夜間	332	-31	1	-4	432	-41
高齢者事故		468	1	1	-2	274	9

※「昼」とは日の出から日没まで、「夜」とは日没から日の出までをいう。

- 人身事故全体の約3割を高齢者事故が占めています。
- 件数、死者数、負傷者数のいずれも過去10年間で最少。
- 自転車事故が17%増加、特に中学生による自転車事故の増加が目立つ。
- 前年に比べ朝の通勤時間帯の事故は減少したが、夕方の退社時間帯の事故が増加。

12 死亡事故発生状況

番号	発生日月 時間 天候	発生場所 路線	事故類型	事故状況	現場
1	4月27日(金) 0時33分頃 〈晴〉	見付 国道一号 磐田バイパス 上り線上	自動二輪車 29歳 男性 死亡 単独		
2	6月9日(土) 11時40分頃 〈晴〉	福田 市町村道	普通乗用車×普通乗用車 普通乗用車 91歳 男性 死亡 車両相互 (出会い頭)		

死亡事故の特徴

○死者2人のうち、1人は高齢者、1人は若者



→ この位置より写真撮影

二輪運転者の方

- 速度の出すぎ、無理な追い越しはやめましょう。
- カーブの手前では十分な減速を。
- オートバイは乗用車等と比べ車体が小さく、他の車から見落とされやすい特性を理解して運転しましょう。

すべての人に

- 歩行者も自転車も自動車も、信号を守る。 交通ルールの基本です。



第4 磐田警察署管内各種事故の状況(各当事者別)

1 幼(園)児事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	39		49
前年比	-16		-14

(2) 状態別

区分	当事者	
歩行中	走行車両の直前直後横断	1
	路上遊戯	1
	その他	1
同乗中(自動車)	46	
計	49	

POINT 幼児・園児事故の特徴

○9割以上が車両同乗中

※幼児の発育の程度に応じた形状を有するEマークが表示されたベルト型幼児用補助装置もチャイルドシート同様に使用できるようになりました。

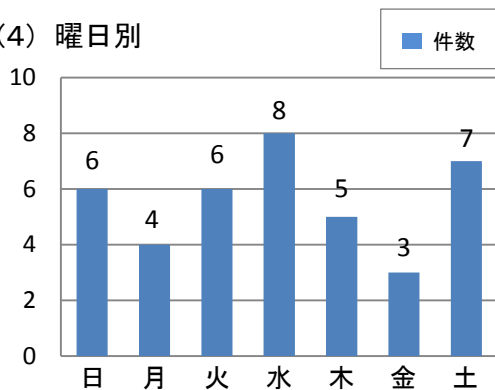
※6歳未満の乳幼児には、体格に合ったチャイルドシートを正しく取り付け、必ず装着させましょう。



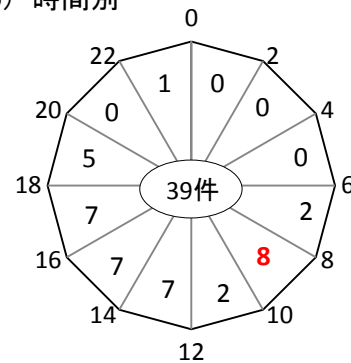
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	4	5	5	7	2	1	1	6	1	2	3	2	39
死者													
負傷者	6	6	5	10	2	1	2	7	2	3	3	2	49

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 年齢別

年齢	当事者
1歳	16
2歳	3
3歳	14
4歳	3
5歳	11
6歳	2
計	49

(7) 事故類型別

区分	件数		
人对車両	対(背)面通行中	1	
	横断中	横断歩道	
		その他	1
その他	1		
車両相互	追突	14	
	出会い頭	16	
	追越等	1	
	右左折	2	
	その他	3	
車両単独			
計	39		

※(2)違反別(6)年齢別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

2 小学生事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	46		54
前年比	-1		4

POINT 小学生事故の特徴

- 6割強が車両同乗中
- 全席シートベルトを着用しましょう
- 14時～18時の事故が多い



**子供に優しい
運転を!!**

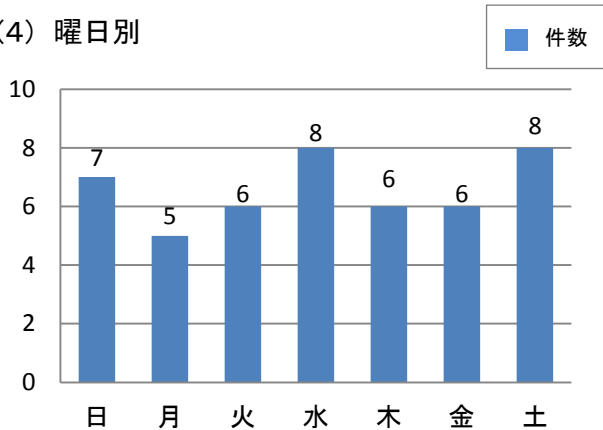
(2) 違反別

	区分	当事者	
歩行者	横断歩道外横断	1	
	斜め横断	2	
	飛出し	2	
	違反なし	6	
	その他	3	
自転車	指定場所一時不停止	1	
	義務安全運転違反	動静不注視	1
		安全不確認	1
	違反なし	2	
車両同乗中		35	
計		54	

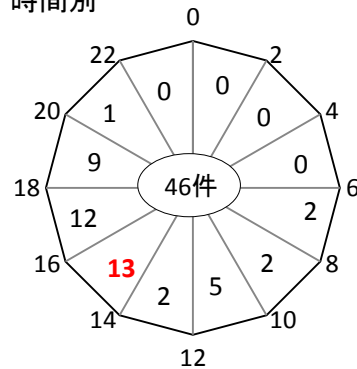
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	7	2	7	8	2	2	1	4	1	5	5	2	46
死者													
負傷者	7	2	8	9	2	2	1	6	1	6	8	2	54

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 学年別

学年	当事者
1年	10
2年	12
3年	8
4年	6
5年	12
6年	6
計	54

(7) 事故類型別

	区分	件数	
人対車両	対(背)面通行中	1	
	横断中	横断歩道	5
		その他	5
その他			
車両相互	正面衝突		
	追突	11	
	出会い頭	22	
	右左折	1	
	その他	1	
車両単独			
計		46	

※(2)違反別(6)学年別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

3 中学生事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	40		41
前年比	14		14

POINT 中学生事故の特徴

- 前年に比べて5割増加
- 特に自転車乗車中の事故が激増
- 出会い頭事故が半数以上



**交差点手前で
しっかり止まり
ましょう!!**

(2) 違反別

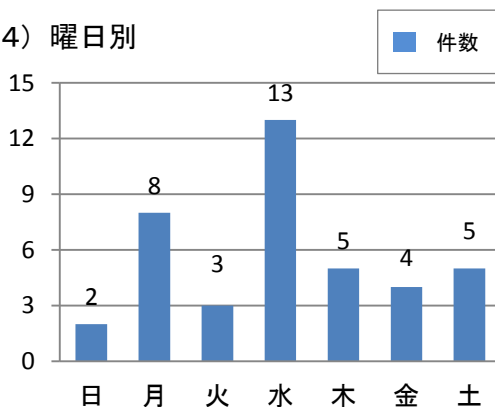
	区分	当事者
歩行者	違反なし	5
	信号無視	1
自転車	交差点安全進行義務違反	2
	指定場所一時不停止	5
	義安 務全 違運 反転	ハンドル操作不適 1 動静不注視 2 安全不確認 8
	違反なし	4
車両同乗中	その他	1
	計	42

(内1人負傷なし)

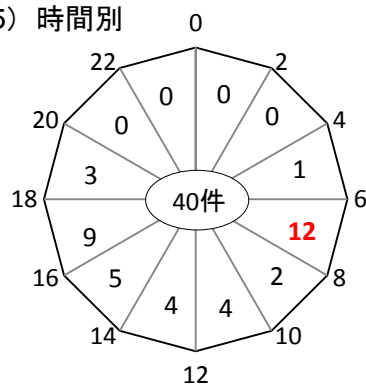
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	2	4	6	6	2	2	2	2	3	5	3	3	40
死者													
負傷者	2	4	7	6	1	2	2	2	3	6	3	3	41

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 学年別

学年	当事者
1年	14
2年	15
3年	13
計	42

(7) 事故類型別

	区分	件数	
人対車両	対(背)面通行中	3	
	横断中	横断歩道	1
		その他	1
車両相互	その他		
	追突	4	
	出会い頭	22	
	追越等	1	
	右左折	5	
車両単独	その他	1	
	計	40	

※(2)違反別(6)学年別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

4 高校生事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	63		64
前年比	3		8

(2) 違反別

区分	違反	当事者	
歩行者	違反なし	2	
	信号無視	1	
自転車	交差点安全進行義務違反	2	
	指定場所一時不停止	4	
	交通安全義務違反	脇見運転	2
		動静不注視	11
		安全不確認	12
違反なし	16		
その他	1		
四輪車	違反なし	1	
車両同乗中		13	
計		65	

(内1人負傷なし)

POINT 高校生事故の特徴

- 自転車乗車中の事故が8割弱
- 6～8時の事故が多い
- 月、火、水曜日の発生が多い

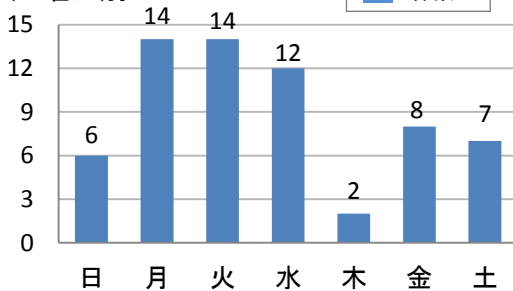
**時間にゆとりを持って
登校しましょう!!**



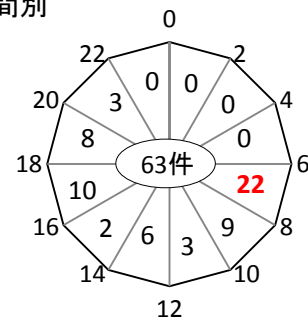
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	2	5	6	3	11	3	5	3	2	5	9	9	63
死者													
負傷者	2	5	6	3	11	3	6	3	2	5	9	9	64

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 学年別

学年	当事者
1年	32
2年	19
3年	14
計	65

(7) 事故類型別

区分	件数		
人対車両	対(背)面通行中		
	横断中	横断歩道	1
		その他	
その他	1		
車両相互	正面衝突	1	
	追突	7	
	出会い頭	33	
	追越等		
	右左折	15	
	その他	3	
車両単独	2		
計	63		

※(2)違反別(6)学年別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

5 高齢者事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	468	1	274
前年比	1	-2	9

(2) 違反別

区分	当事者	
歩行者	車道通行	1
	横断歩道外横断	1
	斜め横断	1
	走行車両の直前・直後の横断	1
	飛出し	1
	違反なし	23
	その他	1
小計	29	

区分	当事者	
自転車	ハンドル操作不適	1
	動静不注視	5
	安全不確認	15
	違反なし	4
	小計	25

区分	当事者		
二輪・原付	交差点安全進行義務違反	1	
	徐行場所違反	3	
	指定場所一時不停止	1	
	安全運転義務違反	漫然運転	4
		脇見運転	3
		動静不注視	6
		安全不確認	4
	違反なし	8	
	小計	30	

区分	当事者		
四輪	信号無視	15	
	優先通行妨害等	1	
	交差点安全進行義務違反	12	
	横断歩行者妨害	6	
	横断自転車妨害	4	
	徐行場所違反	3	
	指定場所一時不停止	19	
	安全運転義務違反	ハンドル操作不適	1
		ブレーキ操作不適	9
		漫然運転	27
脇見運転		28	
動静不注視	43		
安全不確認	159		
違反なし	89		
その他	4		
車両同乗中	42		
小計	462		
小計	546		

(内271人負傷なし)

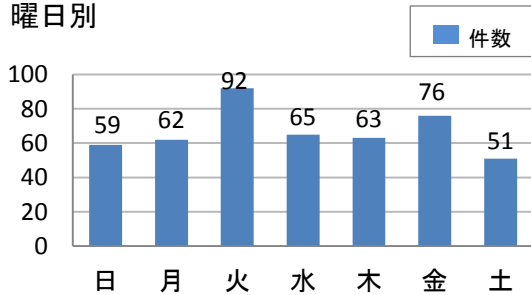
POINT 高齢者事故の特徴

- 高齢免許保有者数は5年前より26%増加
- 高齢ドライバーによる事故は出会い頭事故が4割以上

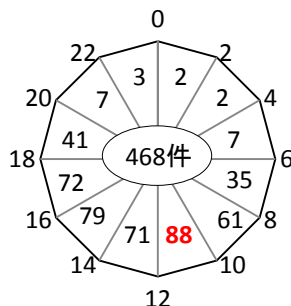
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	31	39	45	40	54	31	48	39	34	43	33	31	468
死者						1							1
負傷者	21	18	26	33	27	19	24	31	18	24	19	14	274

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 事故類型別

区分	件数		
人対車両	対(背)面通行中	4	
	横断中	横断歩道	11
		その他	9
その他	16		
車両相互	正面衝突	5	
	追突	143	
	出会い頭	181	
	追越等	4	
	右左折	40	
その他	45		
車両単独	10		
小計	468		

※(2)違反別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

6 歩行者事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	77		82
前年比	6	-1	9

POINT 歩行者事故の特徴

- 16～20時の事故が多い
- 道路横断中の高齢者事故が多い

明るい服装での外出を!!
自発光式反射材を身に付け
ましょう

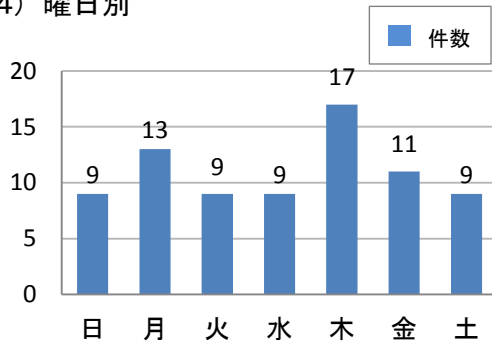
(2) 違反別

区分	当事者
左側通行	1
車道通行	1
横断歩道外横断	3
斜め横断	3
走行車両の直前直後の横断	2
路上遊戯	1
飛出し	3
違反なし	63
その他	5
計	82

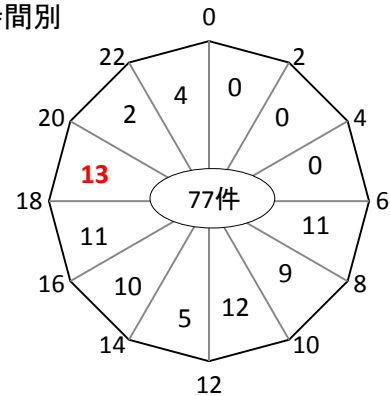
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	10	9	8	7	5	1	7	4	5	5	8	8	77
死者													
負傷者	10	11	8	8	5	1	7	4	5	5	10	8	82

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 年齢層別

区分	当事者
幼(園)児	3
小学生	14
中学生	5
高校生	2
20歳未満	1
20歳代	5
30歳代	5
40歳代	8
50歳代	6
60～64歳	4
65～74歳	15
75歳以上	14
計	82

(7) 事故類型別

区分	件数	
対(背)面通行中	13	
横断中	横断歩道	24
	その他	15
その他	25	
計	77	

※(2)違反別(6)年齢層別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある

7 自転車事故

(1) 発生状況

区分	件数	死者	負傷者
平成30年	181		181
前年比	27	-2	31

POINT 自転車事故の特徴

- 前年対比2割弱増加
- 8割以上が、出会い頭または右左折事故

自転車安全利用五則

- ①自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④安全ルールを守る
 - ・飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- ⑤子どもはヘルメットを着用

(2) 自転車の違反別(第1当・第2当事者以下)

区分	第1当事者	第2当事者以下	
信号無視	2	1	
交差点安全進行義務違反		6	
指定場所一時不停止	13	2	
安全運転義務違反	ハンドル操作不適	2	
	脇見運転	2	1
	動静不注視	2	40
	安全不確認	11	50
その他	1		
違反なし		51	
計	33	151	

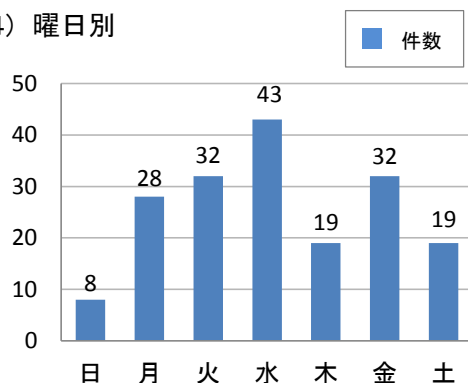
(内3人負傷なし)



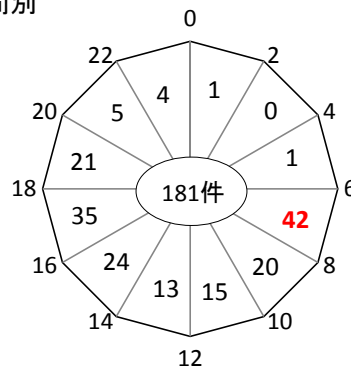
(3) 月別

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	8	19	18	15	26	14	15	9	5	18	16	18	181
死者													
負傷者	8	19	19	15	26	13	15	9	5	18	16	18	181

(4) 曜日別



(5) 時間別



(6) 年齢層別

区分	当事者
幼(園)児	
小学生	5
中学生	24
高校生	49
20歳未満	10
20歳代	22
30歳代	16
40歳代	18
50歳代	10
60～64歳	5
65～74歳	7
75歳以上	18
計	184

(7) 事故類型別

区分	件数	
人对車両	対(背)面通行中	
	横断中	横断歩道
	その他	1
車両相互	正面衝突	3
	追突	4
	出会い頭	103
	追越等	3
	右左折	51
その他	11	
車両単独	5	
計	181	

※(2)違反別(6)年齢層別は当該交通事故の当事者数を表しているため負傷者数とは一致しない場合もある